



代表取締役社長 渋谷 義徳 氏

三條印刷株式会社 様

http://www.san-in.biz

本社：新潟県三条市元町9番3号

TEL. 0256-32-2281

栄工場：新潟県三条市福島新田丁613番1号

TEL. 0256-45-5271

創 業：1936年

代表取締役社長：渋谷 義徳

LED-UV 搭載の 928P 導入で ワンストップサービスのさらなる進化を目指す。

三條印刷は、主力であるポスター、カタログ、チラシなどの商業印刷からパッケージ印刷に至るまでの多彩な仕事内容で、長年に渡ってお客様のニーズと信頼に応えてきた。近年ますます高まる短納期のニーズに応えるため、2014年3月にLED-UV搭載のA全判オフセット両面兼用8色印刷機928Pを導入。代表取締役社長の渋谷義徳氏、業務管理部長の渋谷政道氏、製造部長の皆川達也氏に928Pの導入の理由と効果をお聞きした。

お客様を“まるごとしっかり” 引き受ける

“金物の街”新潟県三条市に本社を置く三條印刷株式会社。前身の渋谷印刷所が地場産品のレット印刷会社として明治41年に創業したのが始まりである。現在はポスター、カタログなどの商業印刷をはじめ、パッケージ印刷なども手がける。代表取締役社長の渋谷義徳氏は会社の基本姿勢について次のように語る。



業務管理部長 渋谷 政道 氏

「我が社には“まるしか隊”という、ゆるキャラがいます。これに込められているのは、お客様を“まるごと、しっかり”引き受けますという想いです。企画から印刷まで、ワンストップでお客様のニーズや期待に応えたい。それを実現するために、即乾印刷機928Pが必要でした」

短納期ニーズに対する 「危機感」

油性印刷を軸にしてきた同社だが、市場の変化に対応できないケースも出てきていた。業務管理部長を務める渋谷政道氏は、当時の課題を振り返る。

「ページ物などの両面印刷には片面刷りの菊全機で対応することが多く、乾燥待ちに時間がかかり過ぎていました。また、ボリュームの大きな案件の場合、社内機だけでは間に合わないのが、外注せざるを得ませんでした。一方で、市場では年々、短納期のニーズが高まっています。このままでは、それに応えられないという危機感がありました」

製造部長を務める皆川達也氏も、油性印



製造部長 皆川 達也 氏

刷のワークフローで様々な課題に直面していた。

「例えば、刷り上がった包装紙を折ったところ、実はまだ乾ききっておらず、裏写りしてしまうこともありました。1部でもミスが出ると、当然、全部刷り直さなければなりません。その度に、時間にも紙にもロスが発生していました」

生産性の向上を模索する中、即乾性に優れたUV印刷導入の検討が始まった。

WORKS

実績紹介



第58回日本観光ポスターコンクール銀賞
「日本観光協会会長賞」を受賞したポスター。
企画提案から携わり、会社の特色にしている。



“まるごと、しっかり”を意味するゆるキャラ「まるしか隊」。
同社が目指す、企画から印刷までを請け負う
ワンストップサービスを表現している。



LED-UV搭載 A全判オフセット印刷機 928P

後発だからこそ
「LED-UV」の選択

数ある UV 印刷システムの中で選ばれたのが LED-UV 乾燥装置搭載の両面兼用 8 色印刷機、928P だった。

「県内でも、高感度 UV インキで印刷する会社が増えている中で、後発だからこそ、LED-UV を中心にした即乾印刷を進めていこう、と決めました」(渋谷社長)

「省エネ、環境面など、時代はやはり LED-UV。リョービさんはその先駆けで、サポート体制も充実しています。県内に営業所があるので、万一のトラブルの時も心強いですね」(渋谷業務管理部長)

ワンパス両面即乾印刷の
高い生産性

2014 年 3 月、順調に稼動が始まった。「ワンパス両面印刷の生産性の高さに、改めて驚いています。油性インキでは 1 週間経っても乾かなかったヴァンスーボは、928P だと印刷の翌日には加工可能になりました。また、包装に使うコート紙は、朝に刷ればその日の昼には折ることができます。納期面でゆとりができましたし、返品や刷り直しの作業も格段に減りました。

パウダーレスなのでトラブルも少ない。これは大きいですね」(皆川製造部長)

納入にあたっては、リョービからの提案で工場の改装にも着手した。

「他の印刷機で使用するパウダーの影響を心配していたのですが、工場内の改装の豊富な事例をもとに提案をいただき、とても助かりました」(皆川製造部長)

仕事の幅を広げる
多様な用紙への対応

928P の導入は、用紙対応力の向上と同時に、提案力の向上にもつながった。

「さまざまな特殊紙を使って、ポスターやパッケージ、ページ物などを印刷できるようになりました。レストランで使うメニューに、耐水性があって熱にも強い特殊な用紙を提案して、喜ばれたこともあります」(渋谷社長)

一方、オペレーターの人員配置や最適化についても、変化が起きている。

「油性印刷の場合、用紙や絵柄に応じた適切なパウダーの散布が必要なため、経験値が問われます。パウダーレスになったことで、経験の少ないオペレーターに任せられる作業が増えました。印刷はもちろん、

メンテナンスにも手間がかからないので、油性印刷に比べて 1 台あたりの作業人員を半分くらいに抑えることができました」(皆川製造部長)

さらに、928P が A 全機であることによるコスト面での効果も大きい。

「従来は菊全機で刷っていた案件の 7 割を 928P で刷れるので、刷版のコストをかなりカットできています」(渋谷社長)

企画提案からお客様に関わる

同社の特色のひとつに、アイデアセンターという部門がある。前述のゆるキャラ“まるしか隊”を考案したチームだ。

「“まるしか隊”は、世間に硬いイメージを持たれがちな印刷業のイメージを変えるため、一般消費者向けに考案しました。今後は、あらゆるニーズにお応えできるよう、アイデアセンターを中心に企画提案からお客様に関わっていきます。多様な印刷物の提案はもちろん、Web サイトやノベルティの制作なども新たな強みにしようと考えています。928P が持つ幅広い対応力で、新しいアイデアを形にして、お客様に提供していきたいですね」(渋谷業務管理部長)

施工業者と連携して、
LED-UV機の最適な
印刷環境の構築を提案しました!

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社
東日本営業部新潟営業所 北垣 暁弘

ワンパス両面即乾印刷の生産性を高く評価していただきました。導入にあたっては、電気や建築、空調といった業者の皆様とも相談しながら、空気清浄、温度・湿度管理に十分配慮した印刷環境の構築を支援しました。

